

五感に響く!

家でできる

“初めて”は“楽しい”

クレイフラワーづくり体験

まるで本物! 枯れない花を作ってみよう!

クレイフラワーって何?

ソフトクレイと呼ばれる樹脂系の粘土で作る花々をクレイフラワーと呼びます。生花さながらの曲線、色合い、質感を表現できるのが特徴。また、乾かすだけで焼く必要がなく、色付きの粘土を使用するため、後から着色する必要がないといった手軽さが受け、今、人気の習い事の一つになっています。



基本の材料



- 1 花器 (料理に使う小鉢やコップなどでOK)
- 2 ようじ
- 3 太めのマチ針
- 4 はさみ (家庭にある普通のはさみでOK)
- 5 クラフトボンド (木工用ボンドでOK)
- 6 ソフトクレイ (花や葉の色に合わせて数種類)
- 7 無色透明のクリアファイル (底辺をカットし、本のように開ける状態しておく)

今回使用しているソフトクレイは、DECOクレイクラフトアカデミーで販売しているものですが、100円ショップなどで販売されている、樹脂系のカラー粘土でも代用が可能です。ただし、発色や柔らかさが異なる場合があります。

さっそく作ってみよう!

今回は、初心者向けの『バラ』を作ります。

約1時間コース

1 作りたいバラの色になるよう、粘土を混ぜる。

A 最初は少量の粘土を手に取り、好みの色になるまで少しずつ粘土を足していく。使用する粘土の量は、作る花の大きさよりも少し大きいくらいの塊を目安に。



B 色の作り方は絵具と同じ。今回はオレンジ色のバラを作るため、赤と黄色を混ぜ、柔らかさを出すために白も混ぜる。



C 「伸ばしてたたむ」を繰り返しながら練りこむと、ムラなくきれいに混ぜる。混ぜたら1つに丸める (直径約6~7cm)。

◎使わない(余った)粘土は乾燥から防ぐため、ビニール袋に入れておきましょう。

2 花びらの枚数分、小さなボールを作る。

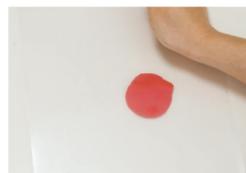


D Cで丸めたものを指でちぎり、小さなボール (直径約2cm) を11~13個作る。花びらの大きさが均一であるほど美しい仕上がりになるため、すべて同じくらいの大きさ (重さ) にしておく。

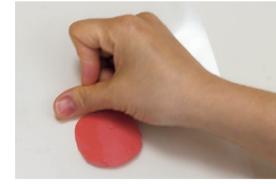


E 乾燥しないように濡れたペーパータオルなどの上に置いておく。

3 小さなボールを平たく伸ばし、花びらを作る。



F クリアファイルを本のように開き、Eのボールを1つ置いて挟み、その上から、親指の付け根部分を使って広げ、平たく伸ばす。



G 平たくなったら、クリアファイルを開き、親指で直接、平たい丸の上半分の縁部分を薄く伸ばす (ここが花びらの縁になる)。



H 小さなボールを1つだけ残し、ほかの小さなボールは同じ要領で平たく伸ばしておく。いびつな丸でOK。

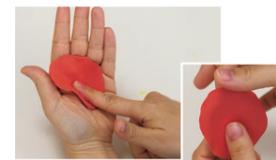
4 花びらの芯を作り、バラの花を作る。



I Hで1つだけ残しておいた小さなボールを両手で挟んで転がし、涙形にする (ここが花びらの芯になる)。



J Hで平たく伸ばしたものを手の平に置き、もう片方の手の平で挟み、手のしわを付けて「花びららしさ」を出す。



K 花びらの中央部分を人差し指で押さえ、花びらにカーブをつける。より自然な感じになるように、適宜、形を整え、花びらに表情をつける。残りの花びらも同様に。



L 花びらの芯に、花びらを1枚ずつ巻きつけていく。本物のバラがあれば、それをよく観察し、花びらの重なり具合などを参考にするとよい。



M 花びらが乾いてしまった場合は、花びらの内側の下部に少量の水を塗る。

5 余分な部分を取り除き、整える。

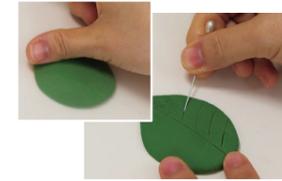


N 花びらを巻いて、太くなった花の下部を手でちぎる。花の全体を見て、気になる部分があれば整え、花器に立てておく。

6 バラの葉を作る。



O 緑色の粘土で直径2cm程度のボールを作り、Oの要領で涙形にする。涙形にしたものを、Fの要領でクリアファイルに挟み、押しつぶし、平たい涙形にする。

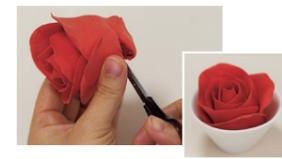


P 平たくなったら、Gの要領で、平たくした涙形の先端に近いほうの縁部分を薄く伸ばし、「葉らしさ」を出す。葉の表面にマチ針で葉脈を描く。



Q 葉全体に立体感が出るよう、葉を少し反らせるなどして指で整える。

7 バラの高さや底面を整える。



R 花器に入れた際のバランスがよくなるよう、バラの下部をはさみで切り取り、高さを調整し、底面部分を平らにする。

◎この段階で、作ったものを1日ほど乾かすと、この後の作業がしやすくなります。乾かさずに作業を進める場合は、作ったものが柔らかいので、形を崩さないよう気を付けながら作業しましょう。

8 花器に飾り付け、固定する。



S クラフトボンドをようじで絡め取り、花器の底面に塗る。葉と同じ緑色の粘土を丸めて底に置き、指で軽く押しつけて平たくする。



T 底に置いた粘土の上面にもボンドを塗り、葉を固定する。



U バラの底面にボンドを塗り、葉の上に固定する。色の違う粘土で作った小花を添えるとますます素敵な仕上がり!



完成したクレイフラワーのバラ

教えてくれたのは DECOクレイクラフトアカデミー <https://decoclay.co.jp/>



1981年、宮井和子が設立。初心者にも作りやすく、生活を豊かに彩る粘土工芸の普及に努める。日本国内はもとより、海外 (ハワイ、香港、台湾、ロシア) にも教室多数。著書は20冊以上。NHKテレビ『おしゃれ工房』、テレビ朝日『徹子の部屋』への出演経験あり。